

都市デザインの推進について

○都市デザインの推進は、昨年度策定した公共サインガイドラインの運用、光のマスタープランに基づくライトアップ実証実験、景観審議会専門委員会による官民事業のデザイン調整により、成果が表れ始めている。

○今年度は、これらに加えて、景観への影響が大きい屋外広告物のガイドラインを策定するとともに、地域のまちづくりの機運をとらえた良好な地域景観の誘導や景観教育などの普及啓発に取り組みたい。

これまでの取組（～R2年度）

公共サインガイドライン成果



熊本駅周辺等
ガイドラインに基づき約300基改修済

光のマスタープラン



明八橋ライトアップ実証実験
実施期間：R3.3.21～R3.4.11

デザイン調整成果



延べ8件のデザイン調整実施

今年度の取組（R3年度～）

屋外広告物ガイドラインの策定

屋外広告物の景観影響について、具体的な内容を図やフォトモンタージュなどで示し、広告業や広告主の理解と協力のもと、良好な周辺景観形成を促していきたい。



x 好ましくない例



o 改善例

ライトスケープキャラバンの実施

地域拠点各所やイベント等に照明機材を持ち込み、市民協働で魅力ある夜間景観の形成に取り組みたい。



景観重要樹木等指定・景観教育実施

景観重要樹木等指定について、所有者等の関係者と検討を進める。
また、多様な世代の景観意識向上のため、景観教育を実施する。現在、ICT機器の活用等効果的な手法について、教育センター・五福小学校と協議を進めている。



2020年度

2021年度

2022年度

景観全般

景観法届出・歴史的建造物保存支援 (新)景観教育の実施・景観重要樹木等指定に向けた検討 景観計画への反映

公共サイン

デザイン調整の実施

公共サインガイドライン策定

ガイドラインに基づく事業実施

屋外広告物

屋外広告物ガイドライン策定

ガイドラインに基づく事業実施

夜間景観

光のマスタープラン策定

ライトスケープ・キャラバン（官民連携による実証実験）の実施